



野底小学校だより

令和6年
12月号

野小っ子



〔連絡先〕
住所：石垣市字野底138番地
TEL：0980-89-2144
FAX：0980-89-2079
Email:nosoko-s@ishigaki.ed.jp



みんなが幸せになるために ～感謝の心を～

子供たちの装いも秋冬仕様に変化し、校門前のクワディーサーの木も多くの葉を落とす季節になりました。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。日頃より野底小学校の教育活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

11月は勤労感謝の日もあることから、「感謝」の気持ちを育むことをねらいとして校長講話で子供たちに話をしました。今回は、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサが言ったとされている「ありがとう」と反対語は「当たり前」・「思考に気をつけなさい」という言葉と考えを題材に感謝することの大切さについて子供たちと考えました。

私たちは、「感謝」の言葉を伝えるとき、「ありがとう」と言います。「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」になります。「有る」ことが「難しい」…つまり、「滅多にない」「貴重だ」という意味になるそうです。だから「有り難う」の反対は、普通のことがありふれていることを意味する「当たり前」になるということです。子供たちには、日常の生活を振り返らせいろいろな人に支えていただいていること、「当たり前」ではないことに気がつくようにしました。

今ある生活や、してもらったことに対して感謝の心（考え）でもって、みんなが「幸せ」になってほしいなと思います。



ありがとう
(感謝)

↓

自分が幸せであることに気づくことができる。

しこう
思考に気をつけなさい、
それはいつか言葉になるから。

ことば
言葉に気をつけなさい、
それはいつか行動になるから。

こうどう
行動に気をつけなさい、
それはいつか習慣になるから。

しゅうかん
習慣に気をつけなさい、
それはいつか性格になるから。

せいかく
性格に気をつけなさい、
それはいつか運命になるから。

うんめい

ありがとう ⇄ 当たり前

あなたは、どうですか？自分を振り返ってみましょう。



スピーチ朝会で育まれること

全児童が、全校児童の前で作文を披露する機会を毎月設けています。人前での話は緊張するものです。しかし、子供たちはそれを乗り越え、発表の姿勢や声の大きさ、聞く姿勢やスピーチを聞いての感想発表など、意識しながら確実に成長しています。全校で取り組むことで、よさの発見や真似てみたいと思うなどの刺激や向上心につながっています。

今後の子供たち一人ひとりの成長が楽しみです。



頑張っているサッカーのことを姿勢よく話した奏人さん



稲作サミットに参加したことを大きな声で発表した小乃実さん

12月の行事

- 3日（火）火災避難訓練
人権を考える日
- 4日（水）児童朝会 委員会
- 5日（木）薬物乱用防止教室
- 11日（水）クラブ
- 14日（土）創立70周年記念集会
記念のつどい
- 16日（月）振替休日
- 17日（火）学校テスト（国・算）
- 18日（水）赤い羽根募金贈呈式
- 20日（金）創立記念日
- 24日（火）全校清掃
PTA 読み聞かせ
- 25日（水）2学期終業式（5校時授業）

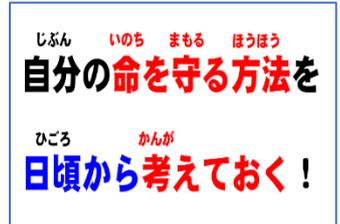
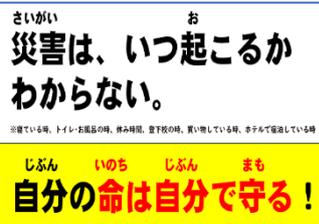
冬休み：26日（木）～1月5日（日）

1月6日（月）3学期始業式
※給食なし

【11月の野底っ子の学びの様子】

自分の命は自分で守る ～命を守る方法を考えよう～

11月5日（火）津波防災の日・世界津波の日に合わせて、野底小学校・幼稚園で地震・津波の避難訓練を実施しました。地震発生と津波警報発令後、兼城公民館までの避難経路をたどり避難。避難場所の兼城公民館で、避難の仕方についての振り返りをしました。子供たちからは、「いつ地震がおり津波が来るかもしれないので、寝ているときの対応を考えます。」「避難の場所と避難場所までの道がわかりました。」という感想が述べられていました。ぜひ、各家庭でも避難について話し合ってみてください。



稲作体験学習サミットへ参加

14日（木）に石垣市役所にて、稲作体験学習サミットが開催されました。学校で稲作をしている八重山地区の学校（8校）が参加。各学校の取り組みを発表し滋賀県の常磐小学校とのオンライン交流もしました。



100名以上も参加する会場で、野底小の3・4年生は、「田んぼは、学校に住むツバメが守ってくれています。」など、野底小ならではの稲作学習の学びを堂々と発表しました。子供たちからは、「緊張したけど、いろんな学校の発表が聞けてよかった。」と感想を述べていました。

沖縄県内初の「自然共生サイト」（環境省）認定

11月7日（木）に本校体育館にて、環境省「自然共生サイト」の認定式が行われました。自然共生サイトとは、環境省が認定する「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」のことで、野底小学校としては、2008年から16年間継続してウミシヨウブの観察や保全活動に取り組んできたことから、子供たちも式に参加し喜びを共にしました。（これまで関わった児童や先生方、関係者に感謝！）



12日には、富士通研究所の方々による出前授業「野底の自然共生サイトでデータの力を考えよう」が行われました。この授業では、普段触れることのない水中ドローンを操縦し、保全活動の効果測定

のためのデータ化・定量化について学習し、普段の学習や生活の中で知識を活用する意欲を高めるねらいで行われました。子供たちは、ウミシヨウブが地底面をどれだけ覆っているのか一生懸命計算したり、最新機器を活用し素早く計算できる方法を学んだりしました。野底小学校ならではの学びです。

